

「グローバル化時代の国際教育のあり方国際比較調査フェーズII・第2年次国際調査」企画競争に係る質問事項への回答

	該当頁	該当項目	質問	回答
1	p.5	8-2 プロポーザル内容に関するプレゼンテーションの実施	このプレゼンテーションの実施予定日とされている2023年2月27日(月)午後2時において、総括が海外出張中等で日本を不在する場合にはオンラインでの発表も可能でしょうか。それとも当日は貴機構東京センターの411会議室において対面での発表をしなければならないといけないでしょうか。	・オンラインの発表も可能です ・ハイブリッドの発表も可能です (例:東京にいる1名は411から参加し、海外出張中の1名はオンラインで参加。)
2	p.19	(1) 2)直接経費	「直接経費として一律10,623,800円を計上ください」とあり、その下に想定される直接経費が表で表されています。この中に「通訳費」が含まれていませんが、英語圏ではない調査対象国(例えばドイツ)において通訳が必要となる場合には、どのように対応させていただければよろしいでしょうか。	・通訳費用も直接経費、10,623,800円の中に含まれています。 ・なお、ドイツの場合は、通訳が必要となる日数は、出張期間中2日程度、と想定しています。
3	p.4 p.20 p.21	8 2)見積書 3. 見積上限額 見積様式	第4 「見積書は任意様式とします」と書かれていますので、以下の点を念のために確認させていただきたく思います。見積上限額は「29,710,230円(税込)」と記載されています。この金額は「見積様式」で言えば、一番下の「6. 合計(税込)4. +5. = _____」の部分に入る金額ということでしょうか。といたしますのも、「4. 合計(税抜)1. +2. +3. = _____円(入札金額)」となっていて、少し分かりづらかったからです。	・ご理解の通りです。「6. 合計(税込) 4. +5. =」の金額として、上限は29,710,230円まで認められます。